

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名	良好な景観の形成		事業番号	017-008	
担当部署名	建築都市	局	都市計画	部	都市景観課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～		施策	(1)世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の継承と魅力の創出		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①百舌鳥古墳群の保全・継承とゲートウェイ機能の強化					
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		目標値	—		
		寄与するKPI	有	取組	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.4		
		有・無	指標名	百舌鳥古墳群の保全						
		有・無	指標名	—		目標値	—			
2 関連計画		堺市景観計画、堺市歴史的風致維持向上計画								
3 事業開始年度		平成 6 年度			点検対象年度		令和 7 年度			
4 実施根拠 (根拠法令、条例等)		景観法、堺市景観条例、屋外広告物法、堺市屋外広告物条例								

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁								
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民（約82万人）、建築業・屋外広告業等事業者						対象数	単位	
								-	-	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	都市の個性づくりや魅力向上、まちなみの美しさを高めるため、総合的な景観施策の展開と実効性のある景観誘導を進め、本市の良好な景観形成を進める。								
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<p>・堺市全域において、大規模な建築物や工作物の新築などを行う場合、景観法及び堺市景観条例等に基づき、大規模建築物等の届出制度による行為の制限（景観形成基準）に基づく審査を実施することにより、実効性ある景観誘導を進める。特に、百舌鳥古墳群周辺地域においては、小規模建築物を対象にするなど、認定申請制度による形態・意匠の制限に基づく審査を実施することにより、百舌鳥古墳群に相応しい良好な景観形成を図る。</p> <p>・安全でかつ景観に配慮した秩序ある屋外広告物の掲出を促進し、良好な景観を実現するため、屋外広告物法及び堺市屋外広告物条例等に基づき許可制度を実施する。また、百舌鳥古墳群周辺地域における基準に適合しない広告物について、早期の適正化に向けて周知・啓発・指導等を行う。</p>								
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載								
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)									
10	公民連携・協働事業									

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	景観法に基づく大規模建築物等の届出数及び景観地区の認定申請数	件	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	120	120	120	120
			実績値	132	134		
達成率	110%	112%					
当該指標を選定した理由		制度の適正な運用を図ることにより、実行性のある景観誘導を進めることができるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		例年の届出等件数から、目標件数を設定					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	堺市景観アドバイザーによる助言件数	件	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	30	30	20	
			実績値	21	12		
達成率	70%	40%					
当該指標を選定した理由		専門的な知識及び経験を有するアドバイザーによる助言を受けることにより、良好な景観形成の推進を図ることができるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		制度の周知状況や例年の届出等件数から目標件数を設定					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	良好な景観の形成	事業番号	017-008
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	8,401	3,817	9,217	6,983	9,094	
13 財源内訳	国支出金		2,500	2,475	3,735	
	府支出金					
	市債					
	その他（世界遺産保全活用推進基金）		2,580			
	受益者負担金(使用料、手数料等)	7,972	849	1,741	1,243	1,498
	一般財源	429	388	4,976	3,265	3,861
14 人件費 (b)	42,055	53,125	54,355	57,635	56,625	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	50,456	56,942	63,572	64,618	65,719	

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
	R4	決算				R4	決算		
16 事業費内訳	R4	決算	623	623	筆耕翻訳費料	R4	決算	60	60
		R5	予算	803		0	R5	予算	278
報償費	R4	決算	20	20	その他保険料	R4	決算	87	0
	R5	予算	0	0		R5	予算	112	0
消耗品費	R4	決算	66	5	堺市景観計画改定支援業務等	R4	決算	5,929	2,475
	R5	予算	86	0		R5	予算	7,470	3,735
印刷製本費	R4	決算	114	82		R4	決算		
	R5	予算	198	15		R5	予算		
通信運搬費	R4	決算	84	0		R4	決算		
	R5	予算	147	0		R5	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
17 ① 大規模建築物等の届出件数、景観地区の認定申請件数	件	132	134
② 上記①にかかる年間経費	千円	16,400	16,400
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	124,242	122,388
備考（算出についての説明等）			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 建築時の啓発リーフレットによる周知や、景観アドバイザーを活用した効果的な事業者への助言指導により、景観法に基づく大規模建築物等の届出制度や百舌鳥古墳群周辺景観地区の認定制度について、適切かつ円滑に運営することができ、良好な景観形成を図っている。なお、令和4年度から、良好な景観形成を図る上で指針となる景観計画改定作業を進めている関係で事業費が増えているが、現状に合った改定を行うことで、今後の良好な景観形成を円滑に進めることができる。

また、百舌鳥古墳群周辺地域における屋外広告物の適正化が着実に進んでいる他、屋外広告物の許可件数は増加傾向にあり、安全でかつ景観に配慮した秩序ある屋外広告物の掲出を促進することができた。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 大規模建築物等の届出制度や百舌鳥古墳群周辺地域での景観地区認定制度を適切に実施していくことにより、実行性のある景観誘導を着実に進めている。制度の運営に当たって、景観アドバイザーによる専門的な知見に基づくアドバイスを活用することで、事業者等への助言指導を適切に行っている。

また、良好な景観の創出に向けて、その方針と実現に向けた取組を示す堺市景観計画について、社会情勢の変化や上位計画等の更新を受けた改訂作業を進めた。

さらに、屋外広告物の規準等について周知啓発を行うことにより事業者の理解を得ることで、百舌鳥古墳群周辺地域において広告物の適正化を促進している。

これらの取組により、持続的に良好な景観形成を図り、都市の魅力向上に寄与している。